

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中服部南町4計画 新築工	階数	地上10F
建設地	大阪府豊中市服部南町4丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準	平均居住人員	63 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2021年12月21日
敷地面積	722 m ²	作成者	株式会社中川一級建築士事務所 中川勝之
建築面積	273 m ²	確認日	2021年12月22日
延床面積	2,284 m ²	確認者	株式会社アクト一級建築士事務所 森下慶!



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>自然光と自然換気を十分取り込めるよう開口部を設置しつつ、居住空間の断熱性能を確保し、省エネ機器の採用により、環境負荷の低減を図るとともに、快適な室内環境の確保と建物の維持管理に配慮した計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部は、採光と自然換気が十分確保できる大きさと、快適な居住環境となるように配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い配管材料を採用し維持管理の配慮に努めたほか、将来のプラン変更等に対応できるように階高を高く設定した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>居住空間の断熱性能を確保し、LED照明を採用し、建物の省エネルギー化に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>省資源化に配慮し、躯体及び躯体以外にはリサイクル材を採用したほか、断熱材にはODP及びGWPが低いものを使用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂を低く抑えることにより、長期にわたり環境負荷を軽減し地球温暖化の防止に付与できる建物となるように配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0102

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中服部南町4計画 新築工事					
	建設地	大阪府豊中市服部南町4丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	自然光と自然換気を十分取り込めるよう開口部を設置 居住空間の断熱性能の確保と、省エネ機器の採用により、環境負荷の低減を図っている	